

# 健康

県歯科医師会コラム

## 歯の咬合

小林 大介



矯正治療を希望する患者さんのほとんどは、見た目、審美的な障害を訴えて来院します。これは不正咬合による口腔機能の障害が、日常生活ではそれほど自覚されないためでしょう。

しかし検査をしてみると、生理的、または病理的な障害を引き起こしていることが分かります。従って矯正治療を行うにあたり、単に不正咬合による審美的な障害を取り除くのではなく、正常な口腔機能が営めるような組み合わせをつくるのが治療の目的であることを患者さんに説明する必要があります。

「口腔機能障害には」①歯並びが悪いとブラッシング時に清掃されにくい部位ができ

### 矯正治療

<34>

るため、歯の周囲が不潔になりむし歯発生の原因になる②歯垢・歯石がたまりやすく歯周疾患の誘因にもなる③上顎の前歯が前突している、口唇の閉鎖が妨げられ、歯肉が乾燥して炎症を引き起こしたり、運動などに際して外傷を受けやすい④開咬（上下の前歯がかんでなく開いている）や極端な上顎前突（出っ歯）であれば食事がしにくいなど⑤のそしゃく機能障害になる⑥顎骨の成長障害や発音障害などが挙げられます。

## 並びを整え機能障害防ぐ

日本では笑うたびに口元からこぼれる八重歯をチャームポイントとする人を多く見かけましたが、最近では、歯並びに対する日本人の考え方も国際化が進み、不潔、口臭とも結びついて考えられ、八重歯はみにくいという見方に変わってきています。

歯並びに自信がなく、コンプレックスを持つ人は大きな口を開けて笑うことができず、手で口元を隠して笑ったり、無意識のうちに自然に笑

えなくなり、精神的にも大きな影響を受けてしまうものです。

きれいな歯並びに変えることで、口腔機能障害をなくし、審美的な障害もなくなり、コンプレックスを持つ人は自信を持って大きな口を開けて笑えるようになるでしょう。Chura smile

（美らスマイル）を手に入れることで、歯の長寿、そして「長寿の島、沖縄」を取り戻せるのではないのでしょうか。

（こばやし矯正歯科）



矯正前、上下の前歯のかみ合わせが悪い開咬状態



矯正治療後はきれいな歯並びにチェンジ